



アイデンティティ管理とアクセス管理 BlueXP setup and administration

NetApp
December 11, 2024

目次

アイデンティティ管理とアクセス管理	1
BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細	1
BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理を開始する	8
フォルダとプロジェクトを使用してBlueXP IAMでリソースを整理する	9
BlueXP IAMメンバーの追加と権限の管理	15
BlueXP 組織のリソース階層を管理します。	24
BlueXP コネクタを他のフォルダおよびプロジェクトに関連付ける	27
BlueXP 組織、プロジェクト、コネクタの切り替え	28
BlueXP 組織の名前を変更する	31
BlueXP タイムラインからIAMアクティビティを監視または監査	31
事前定義されたBlueXP IAMロールと権限	32

アイデンティティ管理とアクセス管理

BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細

BlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) を使用すると、NetAppリソースへのアクセスを整理および制御できます。組織の階層に従ってリソースを編成できます。たとえば、地理的な場所、サイト、ビジネスユニットごとにリソースを整理できます。その後、階層の特定の部分のメンバーに権限を割り当てることができます。これにより、階層の他の部分のリソースにアクセスできなくなります。

BlueXP IAMは、BlueXP アカウントによって提供されていた以前の機能を置き換え、強化します。"BlueXP IAMの導入について詳しくは、[こちらをご覧ください](#)。"です。

BlueXP IAMは、標準モードでBlueXP を使用する場合にサポートされます。BlueXP を制限モードまたはプライベートモードで使用している場合は、BlueXP アカウント_を使用してユーザーとリソースを管理します。

- "[BlueXPアカウントの詳細をご確認ください](#)"
- "[BlueXPの導入モードについて説明します](#)"

BlueXP IAMの仕組み

BlueXP IAMを使用すると、組織階層の特定の部分に対する権限を持つメンバーを定義して、組織のリソースへのアクセスを許可できます。たとえば、メンバーは、5つのリソースが関連付けられているプロジェクトに対して、プロジェクト管理者権限を持つことができます。

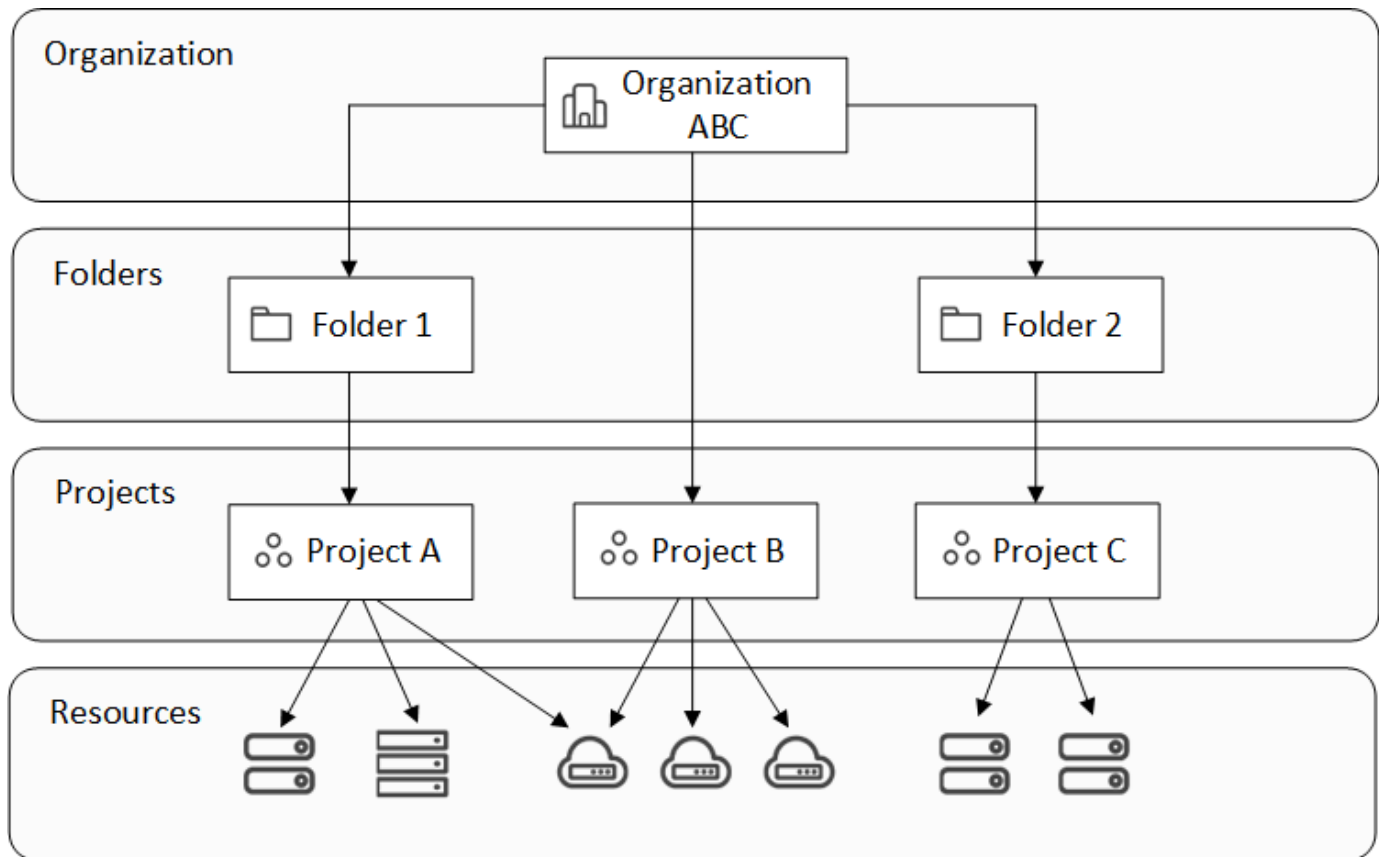
BlueXP IAMを使用する場合は、次のコンポーネントを管理します。

- 組織
- フォルダ
- プロジェクト
- リソース
- メンバー
- ロールと権限
- コネクタ

BlueXP リソースは階層的に編成されています。

- 組織は階層の最上位に位置します。
- フォルダは、組織または別のフォルダの子です。
- プロジェクトは、組織またはフォルダの子です。
- リソースは、1つ以上のフォルダまたはプロジェクトに関連付けられています。

次の図は、基本レベルでのこの階層を示しています。



組織

`an_organization_` は、BlueXP の IAM システムの最上位レベルであり、通常は会社を表します。組織は、フォルダ、プロジェクト、メンバー、ロール、およびリソースで構成されています。コネクタは、組織内の特定のプロジェクトに関連付けられています。

BlueXP にサインアップすると、新しい組織を作成するように求められます。

フォルダ

`a_folder_` を使用すると、関連するプロジェクトをグループ化し、組織内の他のプロジェクトから分離できます。たとえば、フォルダは地理的な場所（EU または米国東部）、サイト（ロンドンまたはトロント）、ビジネスユニット（エンジニアリングまたはマーケティング）を表す場合があります。

フォルダには、プロジェクト、他のフォルダ、またはその両方を含めることができます。

フォルダを作成する必要はありません。これらはオプションです。

プロジェクト

`a_project_` は、組織メンバーがリソースを管理するために BlueXP キャンパスからアクセスする BlueXP 内のワークスペースを表します。たとえば、Cloud Volumes ONTAP システム、オンプレミスの ONTAP クラスタ、FSx for ONTAP ファイルシステムなどをプロジェクトに含めることができます。

組織は1つまたは複数のプロジェクトを持つことができます。プロジェクトは、組織の直下に配置することも、フォルダ内に配置することもできます。

リソース

a_resource_ は、BlueXP で作成または検出した作業環境です。

リソースを作成または検出すると、そのリソースは現在選択されているプロジェクトに関連付けられます。これが、このリソースに関連付ける唯一のプロジェクトである可能性があります。ただし、リソースを組織内の追加プロジェクトに関連付けることもできます。

たとえば、Cloud Volumes ONTAPシステムを1つの追加プロジェクトまたは組織内のすべてのプロジェクトに関連付けることができます。リソースの関連付け方法は、組織のニーズによって異なります。



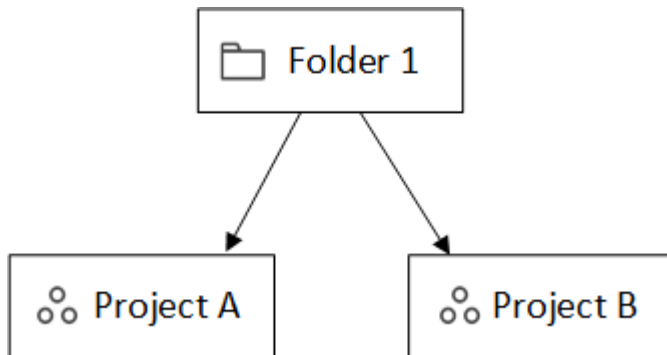
コネクタを組織内の別のフォルダまたはプロジェクトに関連付けることもできます。BlueXP IAMでのコネクタの使用の詳細です。

リソースをフォルダに関連付けるタイミング

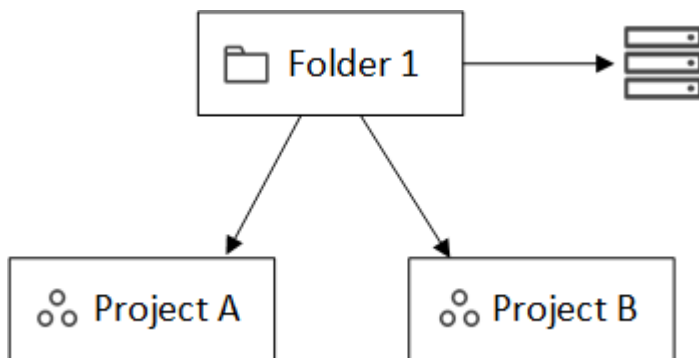
リソースをフォルダに関連付けるオプションもありますが、これはオプションであり、特定のユースケースのニーズを満たしています。

Organization admin はリソースをフォルダに関連付けて、_Folder_ または _Project admin_ がそのリソースをフォルダ内の適切なプロジェクトに関連付けることができます

たとえば、次の2つのプロジェクトを含むフォルダがあるとします。

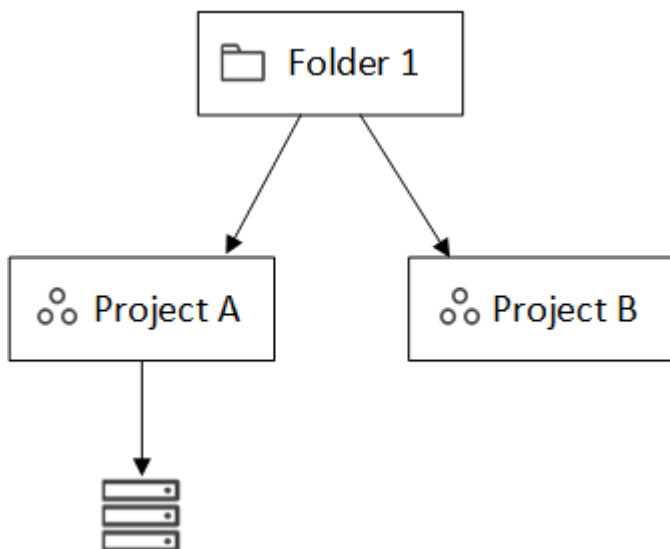


Organization admin では、リソースを次のフォルダに関連付けることができます。



リソースをフォルダに関連付けても、フォルダ内のすべてのプロジェクトからそのリソースに自動的にアクセスできるわけではありません。ただし、_Folder_ または _Project admin_ は、リソースを使用可能にするプロジェクトを決定できます。この決定が完了したら、管理者はリソースを適切なプロジェクトに関連付けることができます。

この例では、管理者はリソースをプロジェクトAに関連付けます。



プロジェクトAの権限を持つメンバーがリソースにアクセスできるようになりました。

メンバー

組織のメンバーは、ユーザーアカウントまたはサービスアカウントです。サービスアカウントは通常、アプリケーションによって使用され、人間の介入なしに指定されたタスクを完了します。

組織には'_Organization admin_role'を持つユーザーが少なくとも1人存在します(組織を作成するユーザーにはこのロールが自動的に割り当てられます)組織に他のメンバーを追加し、リソース階層のさまざまなレベルで異なる権限を割り当てることができます。

ロールと権限

BlueXP IAMでは、組織メンバーに直接権限を付与することはありません。代わりに、各メンバーにロールを付与します。ロールには、メンバーがリソース階層の特定のレベルで特定のアクションを実行できるようにする一連の権限が含まれています。

リソース階層の特定の部分に権限を付与することで、メンバーがタスクを完了するために必要なリソースのみにアクセス権を制限できます。

階層内でロールを割り当てることができる場所

メンバーをロールに関連付ける場合は、組織全体、特定のフォルダ、または特定のプロジェクトを選択する必要があります。選択したロールにより、階層の選択した部分のリソースにメンバー権限が付与されます。

ロールの継承

ロールを割り当てると、そのロールは組織階層に継承されます。

組織

組織レベルで付与するロールは、組織内のすべてのフォルダ、プロジェクト、およびリソースに継承されます。これは、メンバーが組織内のすべてのものに対する権限を持っていることを意味します。

フォルダ

フォルダーレベルで付与する役割は、フォルダー内のすべてのフォルダー、プロジェクト、およびリソースに継承されます。

たとえば、フォルダーレベルで役割を割り当て、そのフォルダーに3つのプロジェクトがある場合、メンバーにはこれら3つのプロジェクトと関連リソースに対する権限が与えられます。

プロジェクト

プロジェクトレベルで付与したロールは、そのプロジェクトに関連付けられているすべてのリソースに継承されます。

複数のロール

組織階層のさまざまなレベルで、各組織メンバーに役割を割り当てることができます。同じロールでも別のロールでもかまいません。たとえば、プロジェクト1とプロジェクト2のメンバーロールAを割り当てることができます。または、プロジェクト1にメンバーロールAを、プロジェクト2にロールBを割り当てすることもできます。

事前定義のロール

BlueXP では、組織のメンバーに割り当てることができるいくつかの事前定義されたロールがサポートされています。

"[IAMの事前定義されたロールの詳細](#)"です。

コネクタ

組織管理者_がコネクタを作成すると、BlueXP はそのコネクタを組織および現在選択されているプロジェクトに自動的に関連付けます。_Organization admin_ は、組織内の任意の場所からそのコネクタに自動的にアクセスできます。ただし、組織内に別のロールを持つ他のメンバーがいる場合は、そのコネクタを他のプロジェクトに関連付けられない限り、それらのメンバーはそのコネクタが作成されたプロジェクトからのみそのコネクタにアクセスできます。

次のような場合に、コネクタを別のプロジェクトで使用できるようにすることができます。

- 組織内のメンバーが既存のコネクタを使用して、別のプロジェクトで追加の作業環境を作成または検出できるようにする場合
- 既存のリソースを別のプロジェクトに関連付け、そのリソースはコネクタによって管理されている

追加のプロジェクトに関連付けたリソースがBlueXP コネクタを使用して検出された場合は、リソースが関連付けられたプロジェクトにコネクタを関連付ける必要もあります。そうしないと、_Organization admin_ ロールを持たないメンバーは、コネクタとそれに関連付けられたリソースにBlueXP キャンバスからアクセスできません。

関連付けは、BlueXP IAMの*コネクタ*ページから作成できます。

- コネクタとプロジェクトの関連付け

コネクタをプロジェクトに関連付けると、プロジェクトを表示しているときに、そのコネクタにBlueXP キャンバスからアクセスできます。

- コネクタとフォルダの関連付け

コネクタをフォルダに関連付けても、フォルダ内のすべてのプロジェクトからコネクタに自動的にアクセスできるわけではありません。組織メンバーは、コネクタを特定のプロジェクトに関連付けるまで、プロジェクトからコネクタにアクセスできません。

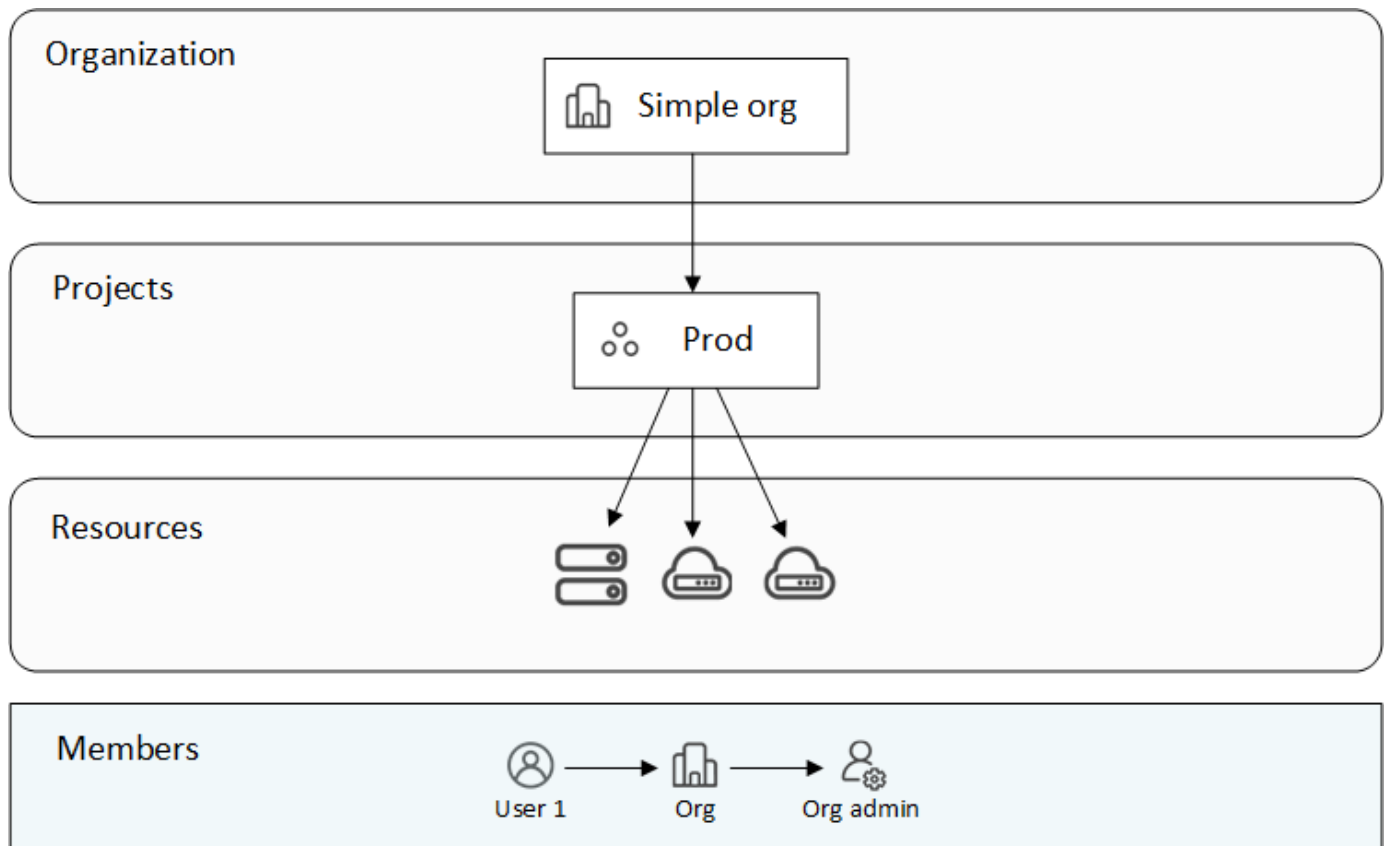
`_Organization admin_` はコネクタをフォルダに関連付けて、`_Folder` または `プロジェクト admin_` がそのコネクタをフォルダ内の適切なプロジェクトに関連付けるかどうかを決定できるようにする場合があります。

IAMの例

次の例は、組織のセットアップ方法を示しています。

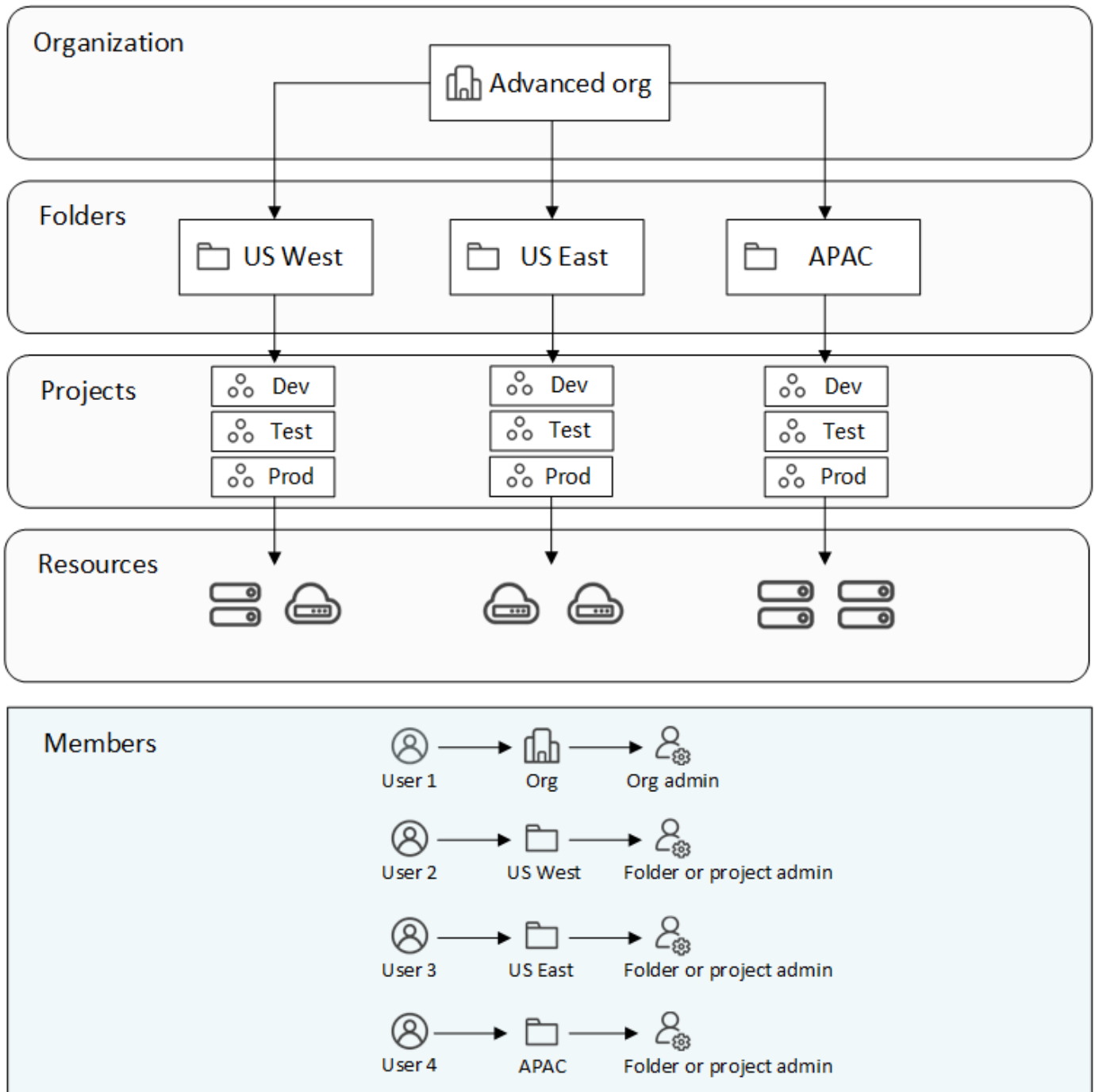
シンプルな構成

次の図は、デフォルトのプロジェクトを使用し、フォルダを使用しない組織の簡単な例を示しています。1人のメンバーが組織全体を管理します。



高度な構成

次の図は、フォルダを使用して、ビジネス内の地理的な場所ごとにプロジェクトを整理する組織を示しています。各プロジェクトには、関連するリソースの独自のセットがあります。メンバーには、組織内の各フォルダの組織管理者と管理者が含まれます。



BlueXP IAMの機能

次に、IAMを使用してBlueXP 組織を管理する例を示します。

- 特定のメンバーに特定のロールを付与して、必要なタスクのみを完了できるようにします。
- メンバーの権限を変更する理由は、メンバーが部門を移動した場合や、追加の権限がある場合です。
- 退社したユーザを削除します。
- 新しいビジネスユニットによってNetAppストレージが追加されたため、フォルダまたはプロジェクトを階層に追加します。
- リソースに別のチームが使用できる容量があるため、リソースを別のプロジェクトに関連付けます。

- メンバーがアクセスできるリソースを表示します。
- 特定のプロジェクトに関連付けられているメンバーとリソースを表示します。

次の手順

- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["フォルダとプロジェクトを使用してBlueXP でリソースを整理する"](#)
- ["BlueXP メンバーとその権限を管理します。"](#)
- ["BlueXP 組織のリソース階層を管理します。"](#)
- ["フォルダーおよびプロジェクトへのコネクタの関連付け"](#)
- ["BlueXP プロジェクトと組織を切り替える"](#)
- ["BlueXP 組織の名前を変更する"](#)
- ["IAMアクティビティの監視または監査"](#)
- ["事前定義されたBlueXP IAMロール"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理を開始する

BlueXP にサインアップすると、新しい組織を作成するように求められます。組織には、1人のメンバー（組織管理者）と1つのデフォルトプロジェクトが含まれています。ビジネスニーズに合わせてBlueXP IDおよびアクセス管理（IAM）を設定するには、組織の階層をカスタマイズし、メンバーを追加し、リソースを追加または検出し、階層全体でそれらのリソースを関連付ける必要があります。

BlueXP IAMから組織全体を管理するには、* Organization admin *権限が必要です。「フォルダ」または「プロジェクト管理」権限がある場合は、権限があるフォルダとプロジェクトのみを管理できます。

新しいBlueXP 組織をセットアップするには、次の手順を実行します。これらの手順を実行する順序は、組織のニーズに応じて異なる場合があります。

1

既定のプロジェクトを編集するか、組織の階層に追加します。

デフォルトのプロジェクトを使用するか、ビジネスの階層に一致する追加のプロジェクトやフォルダを作成することができます。

["フォルダとプロジェクトを使用してリソースを整理する方法について説明します。"](#)です。

2

メンバーを組織に関連付ける

ビジネス内の複数のユーザーがBlueXP からリソースにアクセスして管理する必要がある場合は、ユーザーアカウントを組織に関連付け、リソース階層全体に適切な権限を付与する必要があります。また、サービスアカウントを組織に追加することもできます。

"メンバーとその権限を管理する方法について説明します。"です。

3

リソースを追加または検出する

BlueXP AS_Working Environments_でリソースを追加または検出します。作業環境とは、組織のメンバーがプロジェクト内から管理するストレージシステムのことです。たとえば、Cloud Volumes ONTAPシステムやオンプレミスのONTAPクラスタなどです。

BlueXP キャンバスからリソースを作成または検出する方法について説明します。

- ["NetApp ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
- ["Azure NetApp Files の特長"](#)
- ["Cloud Volumes ONTAP"](#)
- ["Eシリーズシステム"](#)
- ["オンプレミスの ONTAP クラスタ"](#)
- ["StorageGRID"](#)

4

リソースと追加プロジェクトの関連付け

BlueXP でリソースを作成または検出すると、そのリソースは、作業環境を作成または検出したときに選択したプロジェクトに自動的に関連付けられます。そのリソースを組織内の別のプロジェクトで使用できるようにするには、リソース間に関連付けを作成する必要があります。リソースがコネクタによって管理されている場合は、プロジェクトと関連付けられているコネクタの間にも関連付けを作成する必要があります。

- ["組織のリソース階層を管理する方法"](#)です。
- ["コネクタをフォルダまたはプロジェクトに関連付ける方法について説明します。"](#)です。

関連情報

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

フォルダとプロジェクトを使用してBlueXP IAMでリソースを整理する

BlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) を使用すると、プロジェクトとフォルダを使用してNetAppリソースを整理できます。a_project_は、組織のメンバーがmanage_resources_ (Cloud Volumes ONTAPシステムなど) にアクセスするBlueXP内のワークスペースを表します。a_folder_は、関連するプロジェクトをまとめてグループ化します。リソースをフォルダとプロジェクトに整理したら、組織メンバーに特定のフォルダとプロジェクトに対する権限を与えることで、リソースへのきめ細かなアクセス権を付与できます。

フォルダまたはプロジェクトの追加

BlueXP 組織を作成すると、1つのプロジェクトが含まれます。追加のプロジェクトを作成して、組織のリソースを管理できます。必要に応じてフォルダを作成し、関連するプロジェクトをまとめてグループ化することもできます。


このタスクについて

組織の階層の深さは、7つのレベルまで下がります。その結果、ネストされたフォルダを6レベルまで作成できます。最後にネストされたフォルダには、階層の7番目のレベルにあるプロジェクトを含めることができます。

次の図は、組織の階層の最大階層を示しています。

Name	↑
^ MyOrganization	...
^ Folder1	...
^ Folder2	...
^ Folder3	...
^ Folder4	...
^ Folder5	...
^ Folder6	...
o Project	...

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [組織]ページで、*[フォルダまたはプロジェクトの追加]*を選択します。
3. *フォルダー*または*プロジェクト*を選択します。
4. フォルダまたはプロジェクトの詳細を入力します。
 - 名前と場所:名前を入力し、フォルダまたはプロジェクトの階層内の場所を選択します。フォルダーまたはプロジェクトは、組織の直下に配置することも、フォルダー内に配置することもできます。
 - リソース:このフォルダまたはプロジェクトに関連付けるリソースを選択します。

フォルダまたはプロジェクトの親に関連付けられているリソースからのみ選択できます。親が組織の場合は、組織内の任意のリソースから選択できます。親がフォルダの場合は、フォルダに関連付けられているリソースからのみ選択できます。

"リソースをフォルダに関連付けるタイミングを確認する"です。

- アクセス:リソース階層ですでに定義されている既存の権限に基づいて、フォルダまたはプロジェクト

へのアクセス権を持つメンバーを表示します。

必要に応じて、*メンバーの追加*を選択して、フォルダまたはプロジェクトへのアクセス権を持つ追加の組織メンバーを指定し、役割を選択します。ロールは、メンバーがフォルダまたはプロジェクトに対して持つ権限を定義します。

"事前定義されたIAMロールの詳細"です。

5. 「*追加」を選択します。

結果

BlueXP はフォルダまたはプロジェクトを作成し、指定したリソースとメンバーを関連付けます。

フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースとメンバーを表示する

リソースが適切に整理され、組織内の適切なメンバーがアクセスできることを確認するには、フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースとメンバーを表示します。

手順

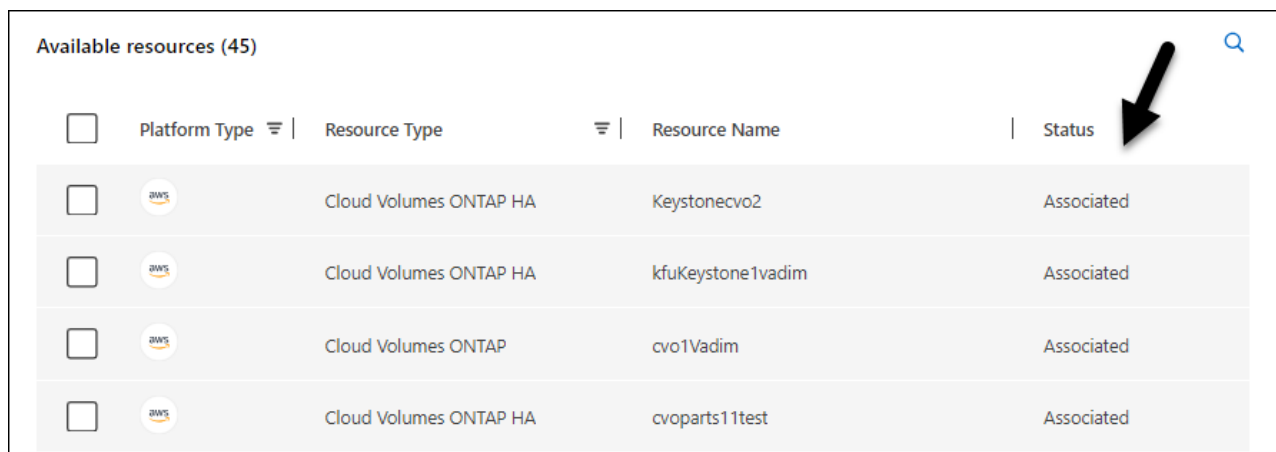
1. [組織]ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、を選択し...で*または[プロジェクトの編集]*を選択します。



オプションが表示される[組織]ページのスクリーンショット。"]

2. [編集]ページで、関連付けられているリソースとメンバーアクセスに関する詳細を表示します。

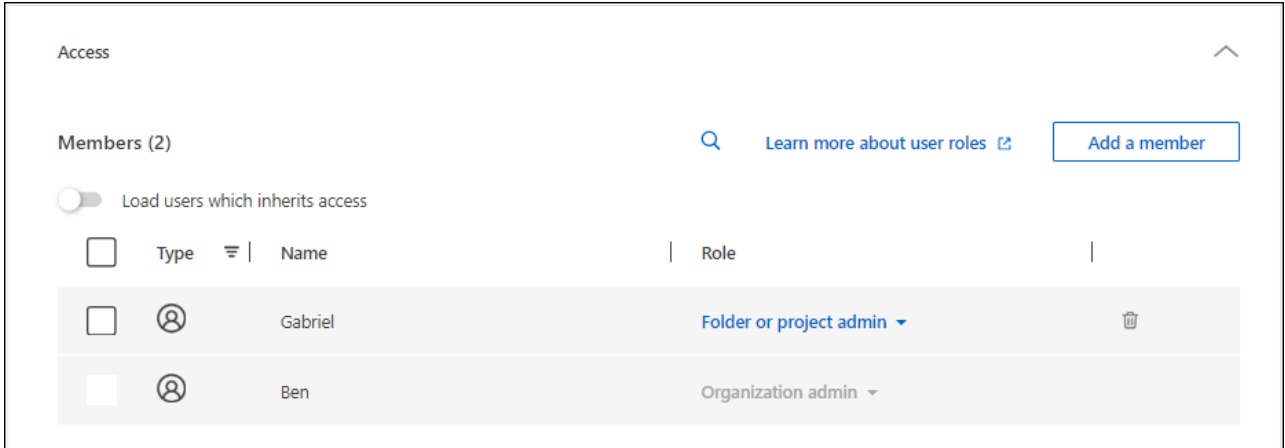
- 関連付けられているリソースを表示するには、*[リソース]*を選択します。テーブルの*ステータス*列は、フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースを示します。



<input type="checkbox"/>	Platform Type	Resource Type	Resource Name	Status
<input type="checkbox"/>		Cloud Volumes ONTAP HA	Keystonecvo2	Associated
<input type="checkbox"/>		Cloud Volumes ONTAP HA	kfuKeystone1vadim	Associated
<input type="checkbox"/>		Cloud Volumes ONTAP	cvo1Vadim	Associated
<input type="checkbox"/>		Cloud Volumes ONTAP HA	cvoparts11test	Associated

ページのスクリーンショット。プロジェクトに関連付けることも、関連付けを解除することもできる利用可能なリソースが表示されます。"]

- 。フォルダまたはプロジェクトへのアクセス権を持つメンバーを表示するには、*アクセス*を選択します。



次の手順

必要に応じて、またはを実行できます [関連付けられているリソースの変更メンバーアクセスの変更](#)。

フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースの変更

リソースを関連付けたり関連付け解除したりすることで、フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースを変更できます。たとえば、リソースに別のチームが使用できる容量があるため、リソースを別のプロジェクトに関連付けることができます。

作業を開始する前に

"[リソースをフォルダに関連付けるタイミングを確認する](#)"です。

手順

1. [組織] ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、を選択し [...](#) で *または[プロジェクトの編集]* を選択します。
2. [編集] ページで、*[リソース]* を選択します。

テーブルの*ステータス*列は、フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースを示します。

3. 関連付けまたは関連付けを解除するリソースを選択します。
4. 選択したリソースに応じて、[プロジェクトに関連付ける]*または[プロジェクトからの関連付けを解除]*のいずれかを選択します。

Available resources (45) | Selected (3) 🔍

Actions: Associate with the project | Disassociate from the project

<input type="checkbox"/>	Platform Type	Resource Type	Resource Name	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP HA	Keystonecvo2	Associated
<input checked="" type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP HA	kfuKeystone1vadim	Associated
<input checked="" type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP	cvo1Vadim	Associated
<input type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP HA	cvoparts11test	Associated
<input type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP	cvosecondaryparts11	Associated
<input type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP HA	keystonetest	Associated
<input type="checkbox"/>	AMAZON	Cloud Volumes ONTAP HA	keystonetesting55	Associated

ページのスクリーンショット。[Associate resources]オプションが表示されます。このオプションは、現在関連付けられていないリソースを選択したあとに使用できます。"]

5. [適用]を選択します。

結果

BlueXP は、リソースをフォルダまたはプロジェクトに関連付けます。そのフォルダまたはプロジェクトに対する権限を持つ組織メンバーは、関連付けられたリソースにアクセスできるようになりました。

フォルダーまたはプロジェクトへのメンバーアクセス権の変更

フォルダーまたはプロジェクトへのメンバーアクセス権を変更して、適切なメンバーがフォルダーまたはプロジェクトに関連付けられたリソースにアクセスできるようにします。

手順

- [組織]ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、**を選択し...**で***または[プロジェクトの編集]***を選択します。
- ページで、**[アクセス]***を選択します。

BlueXP には、フォルダまたはプロジェクトへのアクセス権を持つメンバーのリストが表示されます。

3. メンバーアクセスの変更：

- **メンバーの追加:**フォルダーまたはプロジェクトに追加するメンバーを選択し、役割を割り当てます。
- **メンバーのロールを変更する:**組織管理者以外のロールを持つメンバーの場合は、既存のロールを選択してから、新しいロールを選択します。

ロールが階層の上位レベル（フォルダまたは組織レベル）で提供されている場合は、ロールを下位レベルと上位レベルのどちらで変更するかを検討する必要があります。たとえば、フォルダレベル

で Folder または project admin_role を割り当てた場合、プロジェクトレベルでロールを下位レベルの権限に変更しても、メンバーの権限は変更されません。役割は組織階層に継承されるため、メンバーにはプロジェクトレベルでの管理者権限があります。

"[ロールの継承の詳細](#)"です。

- メンバーアクセス権の削除: 表示しているフォルダーまたはプロジェクトでロールが定義されているメンバーのアクセス権を削除できます。

メンバーアクセスが階層の上位レベル（フォルダまたは組織レベル）で提供されている場合、このフォルダまたはプロジェクトを表示しているときにメンバーアクセス権を削除することはできません。階層のその部分に切り替える必要があります。または、できます"[メンバーページからの権限の管理](#)"。

4. * 適用 * を選択します。

結果

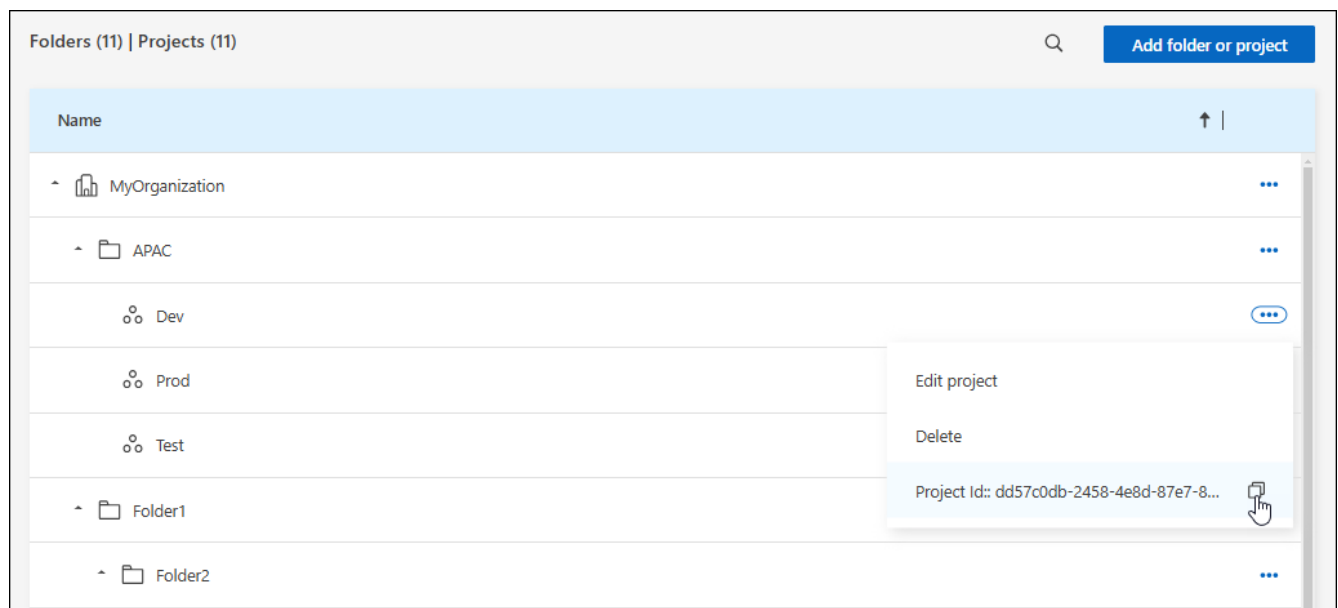
BlueXP は、フォルダまたはプロジェクトへのアクセス権を持つメンバーを更新します。

プロジェクトのIDを取得する

BlueXP APIを使用している場合は、プロジェクトのIDを取得する必要があります。たとえば、Cloud Volumes ONTAP作業環境を作成する場合などです。

手順

1. **[Organization]** ページで、テーブル内のプロジェクトに移動し、**...**
プロジェクトIDが表示されます。
2. IDをコピーするには、コピーボタンを選択します。



フォルダまたはプロジェクトの名前を変更する

必要に応じて、フォルダとプロジェクトの名前を変更できます。

手順

1. [組織]ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、を選択し...で*または[プロジェクトの編集]*を選択します。
2. [編集]ページで、新しい名前を入力し、*[適用]*を選択します。

結果

BlueXP はフォルダまたはプロジェクトの名前を更新します。

フォルダまたはプロジェクトを削除する

不要になったフォルダとプロジェクトを削除できます。

作業を開始する前に

- フォルダまたはプロジェクトに関連付けられているリソースがないことを確認してください。 [リソースの関連付けを解除する方法](#)です。
- フォルダにサブフォルダまたはプロジェクトを含めることはできません。最初にこれらのフォルダとプロジェクトを削除する必要があります。

手順

1. [Organization]ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、を選択し...てから[Delete]を選択します。
2. フォルダまたはプロジェクトを削除することを確認します。

結果

BlueXP はフォルダまたはプロジェクトを削除します。そのフォルダまたはプロジェクトは、組織メンバーが使用できなくなります。

関連情報

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP IAMメンバーの追加と権限の管理

BlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) を使用すると、組織にメンバーを追加し、リソース階層全体で1つ以上のロールを割り当てることができます。a_role_には'メンバーがリソース階層の特定のレベルで特定のアクションを実行できるようにする一連の権限が含まれています新しいユーザアカウントとサービスアカウントの関連付け、メンバーロールの管理などを行うことができます。



BlueXP 組織へのアクセスが失われないようにするには、組織管理者ロールを持つメンバーを2人持つことをお勧めします。

このタスクについて

フォルダまたはプロジェクト管理者が*メンバー*ページを表示すると、そのページには組織内のすべてのメンバーが表示されます。ただし、このロールを持つメンバーは、権限を持つフォルダおよびプロジェクトのメンバー権限のみを表示および管理できます。["フォルダまたはプロジェクト管理者が実行できるアクションの詳細"](#)です。

組織にメンバーを追加する

組織には、ユーザーアカウントとサービスアカウントの2種類のメンバーを追加できます。サービスアカウントは通常、アプリケーションによって使用され、人間の介入なしに指定されたタスクを完了します。


ユーザアカウント

手順

1. ユーザがまだ登録していない場合は、にアクセスしてサインアップするように依頼します ["NetApp BlueXPのWebサイト"](#)。

ユーザーがサインアップすると、*サインアップ*ページを完了し、メールアドレスを確認してからログインする必要があります。組織の作成を求めるメッセージが表示されたら、ユーザーはBlueXP を終了し、ユーザーアカウントが作成されたことを通知する必要があります。その後、そのユーザを既存のBlueXP 組織に追加できます。

["BlueXP へのサインアップ方法を確認する"](#)です。

2. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します 。
3. [メンバー]*を選択します。
4. [メンバーの追加]*を選択します。
5. メンバーを追加するには、ダイアログボックスで次の手順を実行します。
 - エンティティタイプ：*ユーザー*を選択したままにします。
 - ユーザーの電子メールアドレス：ユーザーが作成したBlueXP ログインに関連付けられているユーザーの電子メールアドレスを入力します。
 - 組織'フォルダ'またはプロジェクトを選択:メンバーがアクセス権を持つリソース階層のレベルを選択します

次の点に注意してください。

- 管理者権限を持つフォルダとプロジェクトからのみ選択できます。
- 組織またはフォルダを選択すると、そのメンバーは組織またはフォルダ内に存在するすべてのものに対する権限を持ちます。
- ロールの選択:選択した組織、フォルダ、またはプロジェクトに関連付けられているリソースに対する権限をメンバーに提供するロールを選択します。
 - 組織を選択した場合は、*フォルダまたはプロジェクト管理者*以外の任意のロールから選択できます。
 - フォルダーまたはプロジェクトを選択した場合は、* Organization admin*以外の任意のロールから選択できます。

["事前定義されたIAMロールの詳細"](#)です。

- 役割の追加:組織内の追加のフォルダーまたはプロジェクトへのアクセスを許可する場合は、*役割の追加*を選択し、別のフォルダーまたはプロジェクトを指定してから、役割を選択します。
6. 「*追加」を選択します。

結果


BlueXP は、ユーザーを組織に追加します。

次の手順

ユーザーはNetApp BlueXP から電子メールを受信する必要があります。このメールには、メンバーがBlueXP にアクセスするために使用できる情報が含まれています。

サービスアカウント

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [メンバー]*を選択します。
3. [メンバーの追加]*を選択します。
4. メンバーを追加するには、ダイアログボックスで次の手順を実行します。
 - エンティティタイプ：*サービスアカウント*を選択します。
 - サービスアカウント名：サービスアカウントの名前を入力します。
 - 組織'フォルダ'またはプロジェクトを選択:メンバーがアクセス権を持つリソース階層のレベルを選択します

次の点に注意してください。

- 管理者権限を持つフォルダとプロジェクトからのみ選択できます。
- 組織またはフォルダを選択すると、そのメンバーは組織またはフォルダ内に存在するすべてのものに対する権限を持ちます。
- ロールの選択:選択した組織、フォルダ、またはプロジェクトに関連付けられているリソースに対する権限をメンバーに提供するロールを選択します。
 - 組織を選択した場合は、*フォルダまたはプロジェクト管理者*以外の任意のロールから選択できます。
 - フォルダーまたはプロジェクトを選択した場合は、* Organization admin*以外の任意のロールから選択できます。

"[事前定義されたIAMロールの詳細](#)"です。

- 役割の追加:組織内の追加のフォルダーまたはプロジェクトへのアクセスを許可する場合は、*役割の追加*を選択し、別のフォルダーまたはプロジェクトを指定してから、役割を選択します。
5. 「* 追加」を選択します。
 6. クライアントIDとクライアントシークレットをダウンロードまたはコピーします。

クライアントシークレットは1回だけ表示され、BlueXPによってどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。クライアントIDとクライアントシークレットは、後で必要に応じて再作成できます。

7. [閉じる (Close)]を選択します。

結果

BlueXP は、サービスアカウントを組織に追加します。


組織メンバーの表示

BlueXP 組織内のすべてのメンバーのリストを表示できます。メンバーが使用できるリソースと権限を確認するには、組織のリソース階層のさまざまなレベルでメンバーに割り当てられたロールを表示します。


このタスクについて

*メンバー*ページには、ユーザーアカウントとサービスアカウントの2種類のメンバーの詳細が表示されます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [メンバー]*を選択します。

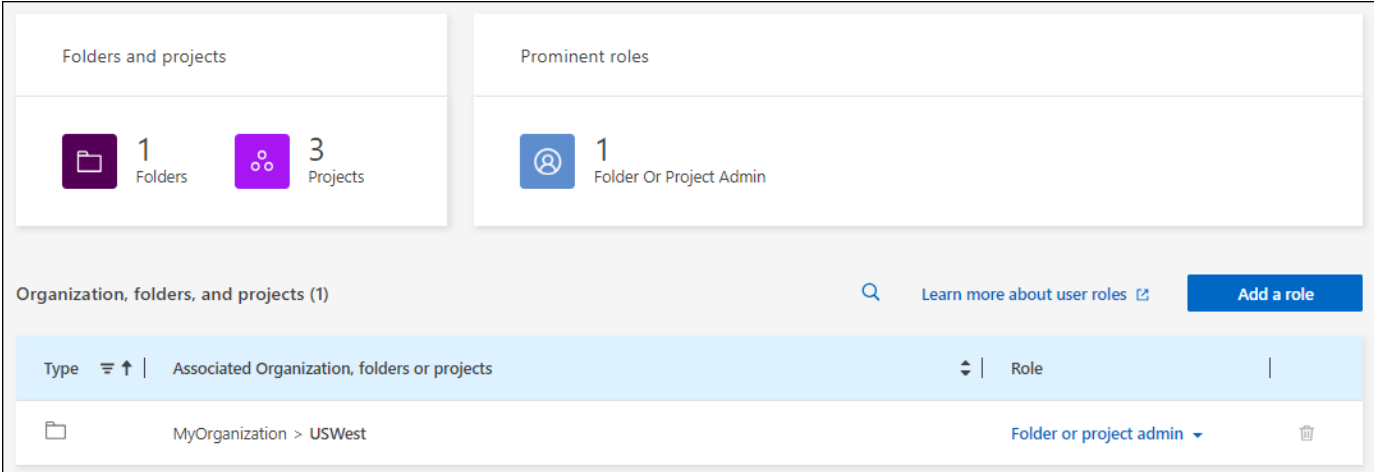
組織のメンバーが*メンバー*テーブルに表示されます。



3. [メンバー]ページで、テーブル内のメンバーに移動し、 を選択し  で*[詳細の表示]*を選択します。

結果

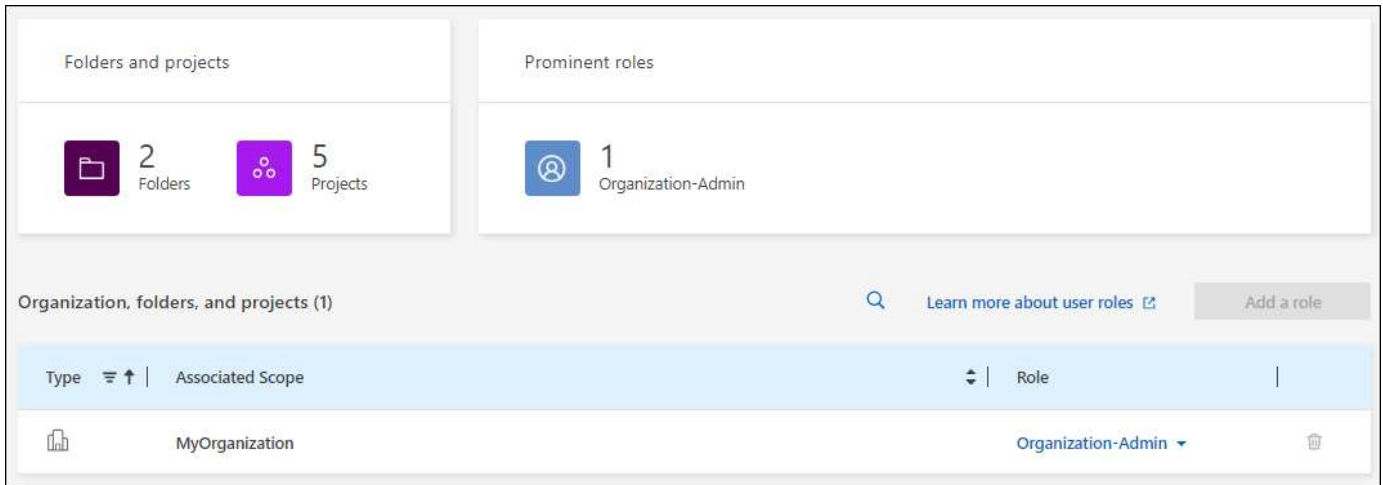
BlueXP には、メンバーに関する詳細が表示されます。これには、メンバーが組織のリソース階層全体で権限を持つフォルダとプロジェクトが含まれます。

フォルダに `_Folder` または `project admin_role` が割り当てられているメンバの例を次に示します。このメンバは、フォルダ内の3つのプロジェクトにアクセス権を提供します。



Type	Associated Organization, folders or projects	Role	
	MyOrganization > USWest	Folder or project admin	

ここでは、組織管理者ロールを持つメンバーを示しています。これにより、ユーザーは組織内のすべてのリソースにアクセスできます。



関連情報

"特定のフォルダまたはプロジェクトに関連付けられているすべてのメンバーを表示する"です。

メンバーの権限を管理する

ロールは、組織、フォルダ、またはプロジェクトレベルでメンバーに割り当てられる権限を定義します。各組織メンバーは、組織階層の異なるレベルでロールを割り当てることができます。同じロールでも別のロールでもかまいません。たとえば、プロジェクト1にメンバーロールAを、プロジェクト2にロールBを割り当てることができます。



組織管理者ロールが割り当てられているメンバーには、追加のロールを割り当てることはできません。組織全体の権限がすでに付与されています。

メンバーへのロールの追加

組織、フォルダ、またはプロジェクトレベルに適用されるロールを追加して、組織内の追加の権限をメンバーに付与します。

手順

- [メンバー]ページで、テーブル内のメンバーに移動し、を選択し...で*[ロールの追加]*を選択します。
- ロールを追加するには、ダイアログボックスで次の手順を実行します。
 - 組織'フォルダ'またはプロジェクトを選択:メンバーがアクセス権を持つリソース階層のレベルを選択します
 - 組織またはフォルダを選択すると、そのメンバーは組織またはフォルダ内に存在するすべてのものに対する権限を持ちます。
 - ロールの選択:選択した組織、フォルダ、またはプロジェクトに関連付けられているリソースに対する権限をメンバーに提供するロールを選択します。
 - 組織を選択した場合は、*フォルダまたはプロジェクト管理者*以外の任意のロールから選択できます。
 - フォルダーまたはプロジェクトを選択した場合は、* Organization admin*以外の任意のロールから選択できます。

"事前定義されたIAMロールの詳細"です。

- 役割の追加:組織内の追加のフォルダーまたはプロジェクトへのアクセスを許可する場合は、*役割の追加*を選択し、別のフォルダーまたはプロジェクトを指定してから、役割を選択します。

3. [新しいロールの追加]*を選択します。

結果

BlueXP がロールを追加します。これで、選択した組織、フォルダ、またはプロジェクトのリソースに対する権限がメンバーに付与されます。

あるロールから別のロールへの変更

メンバーの権限を変更する必要がある場合は、そのメンバーに関連付けられているロールを組織、フォルダ、またはプロジェクトレベルで変更できます。

組織内の複数のメンバーのロールを変更する必要がある場合は、一括アクションを使用してすべての変更を一度に完了できます。

1人のメンバー

手順

1. [メンバー]ページで、テーブル内のメンバーに移動し、を選択し...で*[詳細の表示]*を選択します。
2. テーブルで、組織、フォルダ、またはプロジェクトに移動し、新しいロールを選択します。

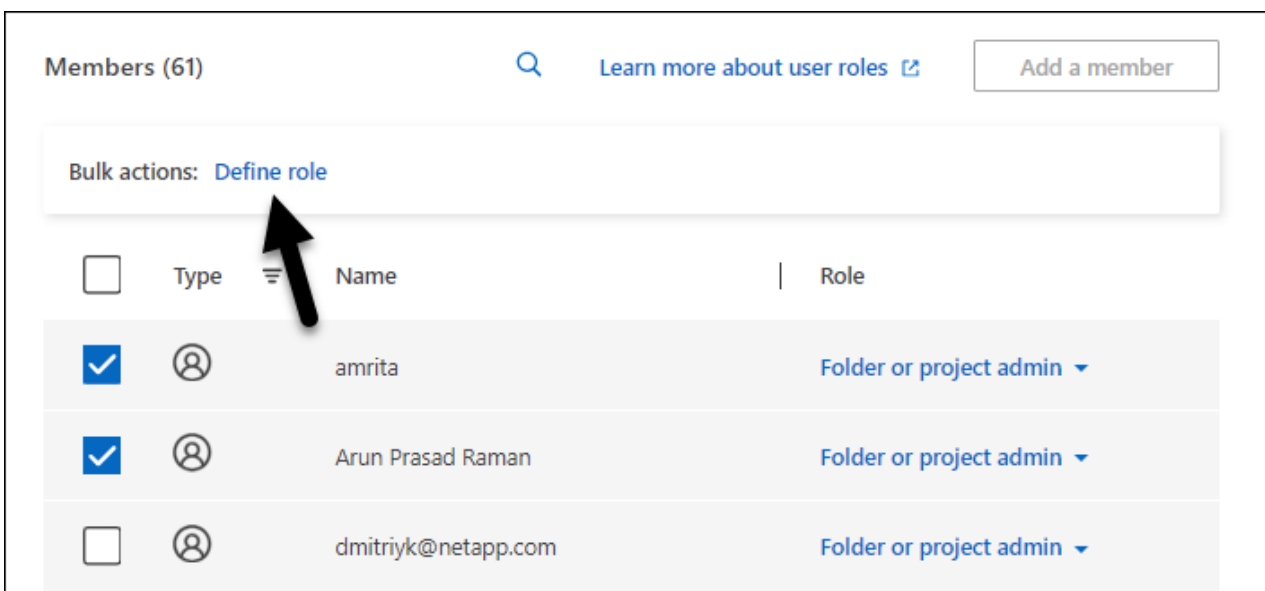
結果

BlueXP は、組織、フォルダ、およびプロジェクトレベルで、そのメンバーに関連付けられているロールを更新します。

複数のメンバー

手順

1. [Organization]ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、を選択し...で*[Edit organization*]、*[Edit folder]、または*[Edit project]*を選択します。
2. ページで、[アクセス]*を選択します。
3. すべてのメンバーを選択するか、複数のメンバーを個別に選択します。
4. [ロールの定義]*を選択します。



5. メンバーに割り当てる役割を選択し、*定義*を選択します。

結果

BlueXP は、選択したすべてのメンバーのロールを更新します。

フォルダまたはプロジェクトの権限を削除する

特定のフォルダーまたはプロジェクトに対するメンバーの権限を削除するには、メンバーのロールを削除します。


このタスクについて

メンバーが組織内のフォルダまたはプロジェクトに対して `_only_one` のアクセス権を持っている場合、その口

ールを削除することはできません。次の2つの選択肢があります。

- リソース階層の別の部分に対する権限をメンバーに付与するには、まずそのルールを追加してから、既存のルールを削除する必要があります。
- メンバーに権限を付与したくない場合は、組織からメンバーを削除するだけです。

手順

1. [メンバー]ページで、テーブル内のメンバーに移動し、を選択し...で*[詳細の表示]*を選択します。
2. テーブルで、フォルダまたはプロジェクトレベルに移動し、

結果

BlueXP は、フォルダまたはプロジェクトレベルでそのメンバーの権限を削除します。


サービスアカウントのクレデンシャルを再作成する

サービスアカウントのクレデンシャル（クライアントIDとクライアントシークレット）はいつでも再作成できます。クレデンシャルを紛失した場合や、一定期間後にセキュリティクレデンシャルをローテーションする必要がある場合は、クレデンシャルを再作成することができます。

このタスクについて

クレデンシャルを再作成すると、サービスアカウントの既存のクレデンシャルが削除され、新しいクレデンシャルが作成されます。以前のクレデンシャルは使用できません。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [メンバー]*を選択します。
3. [メンバー]テーブルで、サービスアカウントに移動し、を選択し...で*[シークレットの再作成]*を選択します。
4. [再作成]*を選択します。
5. クライアントIDとクライアントシークレットをダウンロードまたはコピーします。

クライアントシークレットは1回だけ表示され、BlueXPによってどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。

6. [閉じる（Close）]を選択します。

結果

新しいクライアントIDとクライアントシークレットがサービスアカウントに関連付けられました。

組織からメンバーを削除する

組織からメンバーを削除する必要がある場合があります。たとえば、メンバーが退職した場合などです。

このタスクについて

このタスクでは、メンバーのBlueXP アカウントやNetAppサポートサイトのアカウントは削除されません。組織からメンバーとその関連権限が削除されるだけです。

手順

1. [メンバー]ページで、テーブル内のメンバーに移動し、を選択し...で*[ユーザーの削除]*を選択します。
2. 組織からメンバーを削除することを確認します。

結果

BlueXP がメンバーを削除します。そのメンバーがBlueXP に再度ログインすると、そのメンバーはBlueXP 組織にアクセスできなくなります。

関連情報

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["事前定義されたBlueXP IAMロール"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)


BlueXP 組織のリソース階層を管理します。

BlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) を使用してメンバーを組織に関連付ける場合は、組織、フォルダ、またはプロジェクトレベルで権限を提供します。これらのメンバーが適切なリソースにアクセスする権限を持つようにするには、リソースを特定のプロジェクトやフォルダに関連付けて、組織のリソース階層を管理する必要があります。a_resource_は、BlueXP がすでに管理している作業環境です。

組織内のリソースを表示する

リソース階層の管理を開始するには、組織に関連付けられているリソースを把握しておく必要があります。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [リソース]*を選択します。

結果

組織に関連付けられたリソースが*リソース*テーブルに表示されます。

次の手順

特定のリソースを見つけるには、できます [テーブルの内容を検索してフィルタリングする](#)。

探しているリソースが見つかったら、次のいずれかの操作を実行できます。

- [リソースに関連付けられているフォルダとプロジェクトを表示する](#)
- [リソースを追加のフォルダおよびプロジェクトに関連付ける](#)
- [フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除する](#)

組織内の特定のリソースを検索する

組織内に多数のリソースがある場合は、検索およびフィルタオプションを使用して特定のリソースを検索できます。

手順

1. [リソース]ページで、*[高度な検索とフィルタリング]*を選択します。
2. 利用可能なオプションのいずれかを使用して、目的のリソースを検索します。
 - リソース名で検索：テキスト文字列を入力し、*追加*を選択します。
 - プラットフォーム：Amazon Web Servicesなどのプラットフォームを1つ以上選択します。
 - リソース：Cloud Volumes ONTAPなどのリソースを1つ以上選択します。
 - 組織、フォルダ、またはプロジェクト:組織全体、特定のフォルダ、または特定のプロジェクトを選択します。
3. [検索]*を選択します。

結果

[Resources]テーブルの内容が更新され、選択した検索とフィルタに一致するリソースが表示されます。

リソースとフォルダおよびプロジェクトの関連付け

組織内の別のフォルダまたはプロジェクトでリソースを使用できるようにするには、フォルダまたはプロジェクトとリソースとの関連付けを作成する必要があります。

作業を開始する前に

リソースの関連付けの仕組みを理解しておく必要があります。"[リソースの詳細（リソースをフォルダに関連付けるタイミングなど）](#)"です。

手順

1. [リソース]ページで、テーブル内のリソースに移動し、を選択し...で*[フォルダまたはプロジェクトに関連付ける]*を選択します。
2. フォルダーまたはプロジェクトを選択し、*承認*を選択します。
3. 追加のフォルダーまたはプロジェクトに関連付けるには、*フォルダーまたはプロジェクトを追加*を選択し、フォルダーまたはプロジェクトを選択します。

選択できるのは、管理者権限を持つフォルダとプロジェクトのみです。

4. [リソースを関連付ける]*を選択します。

結果

BlueXP は、リソースを選択したフォルダおよびプロジェクトに関連付けます。

- リソースをプロジェクトに関連付けた場合は、それらのプロジェクトに対する権限を持つメンバーがBlueXP でリソースにアクセスできるようになります。
- リソースをフォルダに関連付けた場合'_Folderまたはプロジェクトadmin_はBlueXP IAM内からリソースにアクセスできるようになります"[リソースとフォルダの関連付けについて](#)"です。

完了後

関連付けたリソースがBlueXP コネクタを使用して検出され、組織内に他のメンバーがいる場合は、リソースが関連付けられたプロジェクトにコネクタを関連付ける必要もあります。そうしないと、_Organization admin_ ロールを持たないメンバーは、コネクタとそれに関連付けられたリソースにBlueXP キャンバスからアクセスできません。

"コネクタをフォルダまたはプロジェクトに関連付ける方法について説明します。"です。

リソースに関連付けられているフォルダとプロジェクトを表示する

組織の階層でリソースを使用できる場所を特定するには、そのリソースに関連付けられているフォルダとプロジェクトを表示します。

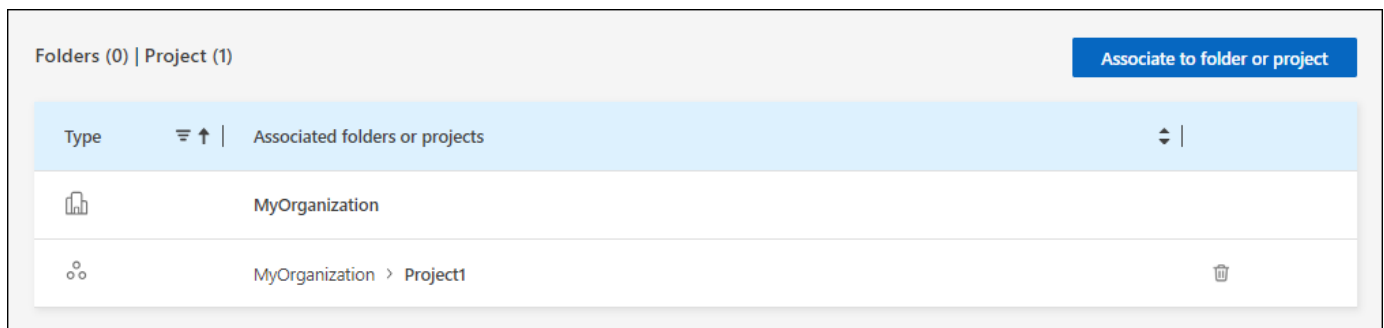
手順




1. [Resources] ページで、テーブル内のリソースに移動し、を選択し...で*[View details]*を選択します。

結果

BlueXP には、リソースに関連付けられているフォルダとプロジェクトが表示されます。

次の例は、1つのプロジェクトに関連付けられているリソースを示しています。



Type	Associated folders or projects	
	MyOrganization	
	MyOrganization > Project1	

次の手順

- できますリソースを追加のプロジェクトまたはフォルダに関連付ける。
- できます特定のフォルダまたはプロジェクトからリソースを削除する。
- リソースへのアクセス権を持つ組織メンバーを特定する必要がある場合は、を実行できます"リソースに関連付けられているフォルダおよびプロジェクトへのアクセス権を持つメンバーを表示する"。

フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除する


フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除するには、フォルダまたはプロジェクトとリソースとの関連付けを削除する必要があります。関連付けを削除すると、組織メンバーはフォルダまたはプロジェクトからリソースを管理できなくなります。

このタスクについて

検出されたリソースを組織全体から削除する場合は、BlueXP キャンバスから作業環境を削除する必要があります。

手順

1. [Resources] ページで、テーブル内のリソースに移動し、を選択し...で*[View details]*を選択します。

2. リソースを削除するフォルダまたはプロジェクトに対して、
3. [削除]*を選択して、関連付けを削除することを確認します。

結果

BlueXP によって関連付けが削除されます。メンバーは、そのフォルダまたはプロジェクトからリソースにアクセスできなくなります。

関連情報

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP コネクタを他のフォルダおよびプロジェクトに関連付ける

コネクタは、BlueXP から複数のタイプの作業環境を管理するために必要です。組織管理者_がコネクタを作成すると、BlueXP はそのコネクタを組織および現在選択されているプロジェクトに自動的に関連付けます。_Organization admin_は、組織内の任意の場所からそのコネクタに自動的にアクセスできます。組織内の他のメンバーは、そのコネクタが作成されたプロジェクトからのみそのコネクタにアクセスできます。ただし、コネクタをBlueXP IDおよびアクセス管理(IAM)の他のプロジェクトと関連付ける必要があります。


作業を開始する前に

コネクタの関連付けの仕組みを理解しておく必要があります。"[BlueXP IAMでのコネクタの使用について](#)"です。


このタスクについて

- フォルダまたはプロジェクト管理者が*コネクタ*ページを表示すると、そのページには組織内のすべてのコネクタが表示されます。ただし、このロールを持つメンバは、コネクタを表示および関連付けできるのは、コネクタが権限を持つフォルダおよびプロジェクトのみです。"[フォルダまたはプロジェクト管理者が実行できるアクションの詳細](#)"です。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [コネクタ]*を選択します。
3. テーブルで、関連付けるコネクタを探します。

特定のコネクタを検索するには、テーブルの上にある検索を使用し、リソース階層の特定の部分を選択してテーブルの内容をフィルタリングします。

4. コネクタが関連付けられているフォルダとプロジェクトを最初に表示するには、を選択し 、*詳細の表示*を選択します。

BlueXP には、コネクタが関連付けられているフォルダとプロジェクトの詳細が表示されます。

5. [フォルダまたはプロジェクトに関連付ける]*を選択します。
6. フォルダーまたはプロジェクトを選択し、*承認*を選択します。
7. コネクタを追加のフォルダまたはプロジェクトに関連付けるには、*フォルダまたはプロジェクトの追加*を選択し、フォルダまたはプロジェクトを選択します。
8. [コネクタを関連付け (Associate Connector)]*を選択する。

結果

BlueXP は、コネクタを選択したフォルダおよびプロジェクトに関連付けます。これらのフォルダおよびプロジェクトに対する権限を持つメンバーは、そのコネクタを選択できるようになりました。

完了後

コネクタが管理するリソースを同じフォルダとプロジェクトに関連付ける場合は、[リソース]ページから関連付けることができます。

["リソースをフォルダおよびプロジェクトに関連付ける方法について説明します。"](#)です。

関連情報

- ["BlueXP コネクタの詳細"](#)
- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP 組織、プロジェクト、コネクタの切り替え

複数のBlueXP 組織に属している場合や、BlueXP 組織内の複数のプロジェクトやコネクタにアクセスする権限を持っている場合があります。必要に応じて、組織、プロジェクト、コネクタを簡単に切り替えて、その組織、プロジェクト、コネクタに関連付けられているリソースにアクセスできます。



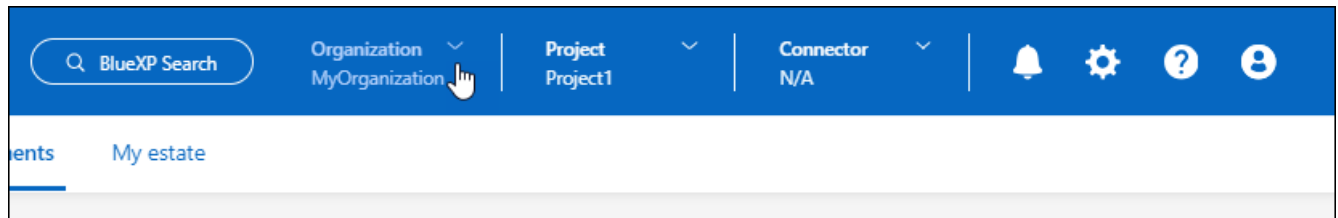
別の組織に参加するよう招待された場合、または自分で追加の組織を作成した場合は、複数の組織に所属することがあります。APIを使用して、追加の組織を作成できます。 ["新しい組織を作成する方法を確認する"](#)

組織間の切り替え

複数の組織のメンバーである場合は、いつでも切り替えることができます。

手順

1. BlueXP の上部で、*組織*を選択します。



ドロップダウンを選択し、別の組織を選択できます。"]

2. 別の組織を選択し、*[スイッチ]*を選択します。

結果

BlueXP が選択した組織に切り替わり、その組織に関連付けられているリソースが表示されます。

プロジェクト間の切り替え

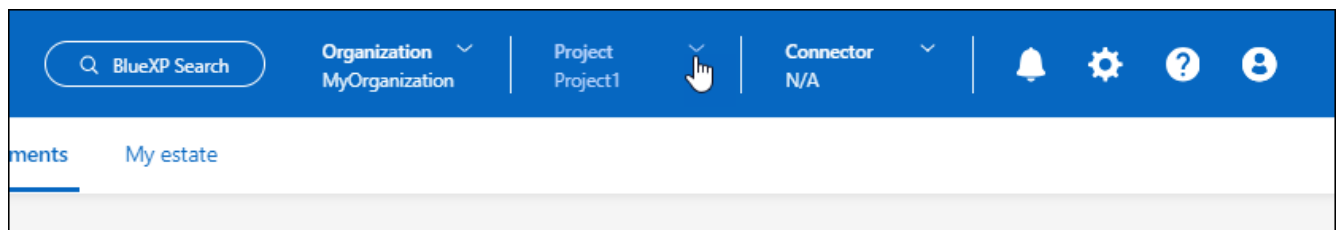
組織に複数のプロジェクトが含まれていて、それらのプロジェクトにアクセスできる場合は、それらのプロジェクトをいつでも切り替えることができます。

作業を開始する前に

BlueXP コンソールのBlueXP Identity and Access Management (IAM) ページ以外のページに移動している必要があります。IAMページを表示しているときに別のプロジェクトに切り替えることはできません。

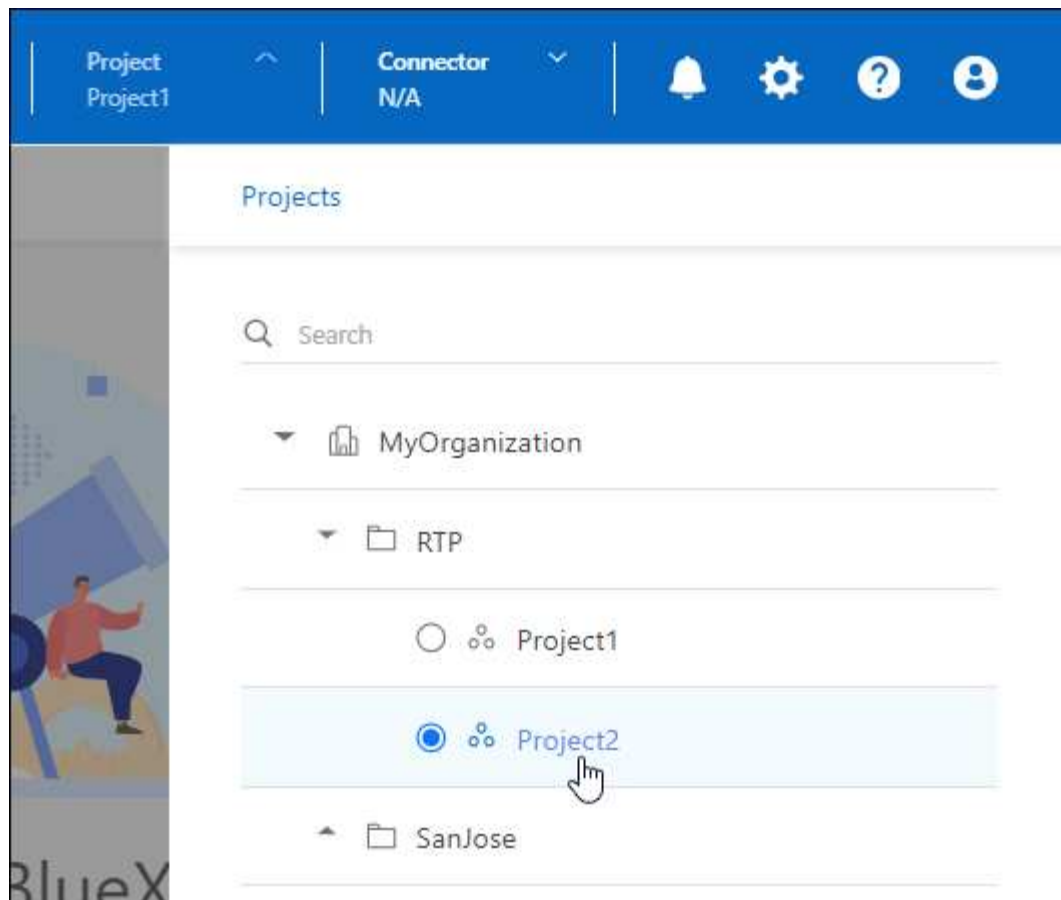
手順

1. BlueXP の上部で、* Project*を選択します。



ドロップダウンを選択して別のプロジェクトを選択できるBlueXP 上部バナーのスクリーンショット。"]

2. 組織内のフォルダとプロジェクトを参照し、目的のプロジェクトを選択して、*[切り替え]*を選択します。



メニューのスクリーン

ショット。"]

結果

BlueXP が選択したプロジェクトに切り替わり、そのプロジェクトに関連付けられているリソースが表示されます。

コネクタを切り替えます

複数のコネクタがある場合は、コネクタを切り替えることで、特定のコネクタに関連付けられている作業環境を確認できます。

手順

1. BlueXP の上部で、* Connector *を選択します。
2. 別のコネクタを選択し、*スイッチ*を選択します。

結果

BlueXP が更新され、選択したコネクタに関連付けられている作業環境が表示されます。

関連リンク

["フォルダーおよびプロジェクトへのコネクタの関連付け"](#)です。

関連情報



- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)

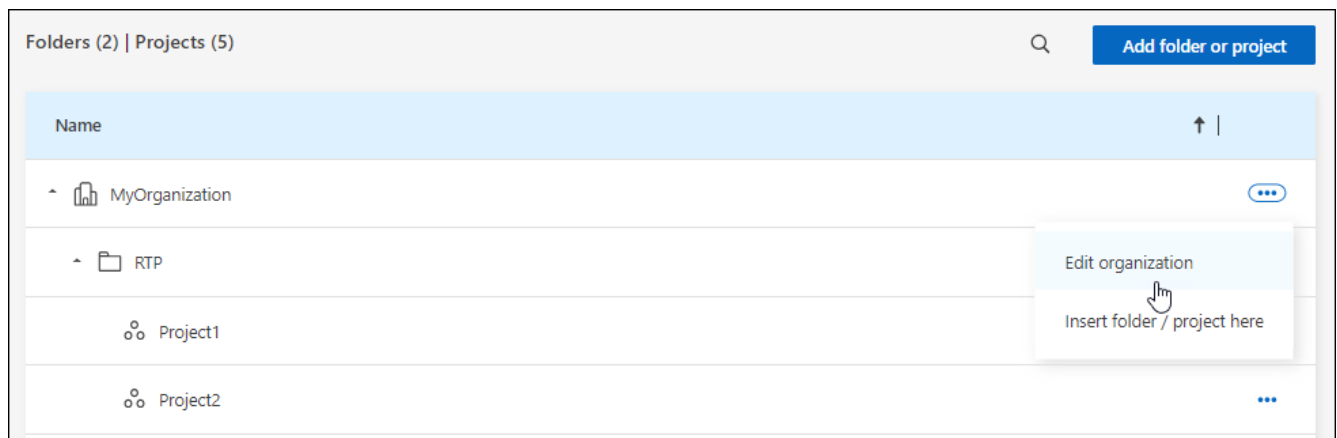
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP 組織の名前を変更する

必要に応じて、BlueXP 組織の名前をBlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) から変更できます。組織名は、BlueXP Webベースのコンソールの上部とIAMページ内に表示されます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>* IDおよびアクセス管理*を選択します .
2. [Organization (組織)] ページで、テーブルの最初の行に移動し、を選択し  から [Edit organization (組織の編集)] *を選択します。



ページのスクリーンショット。アクションアイコンと [Edit organization] オプションが表示されます。"]

3. 新しい組織名を入力し、*適用*を選択します。

結果

BlueXP によって組織名が更新されます。BlueXP コンソールの上部に更新後の名前がすぐに表示されます。


関連情報

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)
- ["BlueXP IAM向けAPIの詳細"](#)

BlueXP タイムラインからIAMアクティビティを監視または監査

BlueXP IDおよびアクセス管理 (IAM) から完了したアクションを監視または監査する必要がある場合は、BlueXP タイムラインで詳細を表示できます。たとえば、組織にメンバーを追加したユーザーや、プロジェクトが正常に削除されたことを確認できます。

手順

1. BlueXP コンソールの右上で、>*タイムライン*を選択します.
2. フィルタから*を選択し、[Tenancy]*を選択します。
3. 他のフィルタを使用して、テーブルに表示するアクションを変更します。

たとえば、* User *フィルタを使用すると、特定のユーザアカウントに関連するアクションを表示できません。

結果

タイムラインが更新され、BlueXP IAMに関連して完了した管理アクションが表示されます。

事前定義されたBlueXP IAMロールと権限

BlueXP IDおよびアクセス管理（IAM）には、リソース階層のさまざまなレベルで組織のメンバーに割り当てることができる、事前定義されたロールがいくつか含まれています。これらのロールを割り当てる前に、各ロールに含まれる権限について理解しておく必要があります。

プラットフォームの役割

BlueXP IAMには、組織管理者とフォルダ管理者またはプロジェクト管理者という2つのプラットフォームロールがあります。2つのBlueXP IAMプラットフォームロールの主な違いはスコープです。組織管理者ロールには、すべてのフォルダおよびプロジェクトに対する権限がありますが、フォルダ管理者またはプロジェクト管理者には、割り当てられているフォルダまたはプロジェクトに対する権限のみがあります。

フォルダまたはプロジェクト管理者ロールはコネクタを作成できません。

権限

タスク	組織管理者	フォルダまたはプロジェクト管理者
コネクタの作成	はい。	いいえ
作業環境の作成、変更、削除 (BlueXP キャンバスを使用して新しいリソースを追加または検出)	はい。	はい。
プロジェクト/フォルダの作成 (名前の変更、削除、編集を含む)	はい。	はい。
ロールの割り当てとユーザの追加	はい。	はい。
リソースとコネクタをフォルダとプロジェクトに関連付ける	はい。	はい。
[設定]>[クレデンシャル]	はい。	はい。
BlueXP タイムラインを表示	はい。	はい。
BlueXP サービスの使用	はい。	はい。
BlueXP を登録してサポートケースを送信	はい。	はい。

大規模な多国籍組織のBlueXP における組織の役割の例

多国籍企業であるXYZ Corporationは、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋の地理的地域に基づいて、データストレージリソースへのアクセスを分離することを目指しています。各地域には、一元的な監視を維持しながら、リソースを独占的に管理できるようにしたいと考えています。

これを実現するために、XYZ社のBlueXP で組織管理者ロールを割り当てられたユーザーが、初期作業環境を作成してから、地域ごとにBlueXP に別々のフォルダを作成します。各リージョンのフォルダには、そのリージョンに関連するプロジェクト（および関連リソース）が含まれています。組織管理者は、各地域のBlueXP ユーザーにフォルダ/プロジェクト管理者ロールを割り当てます。

初期セットアップが完了すると、フォルダまたはプロジェクト管理者の役割を持つ地域管理者は、新しい作業環境を作成し、地域内にユーザーを追加できます。これらの地域管理者は、割り当てられているフォルダやプロジェクトを追加/削除/名前変更することもできます。組織管理者は、新しい作業環境やリソースの権限を継承し、組織全体でのストレージ使用状況の可視性を維持します。

データサービスの役割

データサービスロールは、任意のプロジェクトまたはフォルダ内のタスクを完了できます。

SnapCenterカンリシヤ

説明

アプリケーションのBlueXP バックアップ/リカバリを使用して、オンプレミスのONTAPクラスタからSnapshotをバックアップできます。

権限

このロールを持つメンバーは、BlueXP で次の操作を実行できます。

- [Backup and Recovery]>[Applications]から任意の操作を実行します。
- 権限を持つプロジェクトおよびフォルダ内のすべての作業環境を管理します。
- すべてのBlueXP サービスを使用する

分類ビューア

説明

BlueXP 分類スキャン結果を表示する機能を提供します。

権限

コンプライアンス情報を表示し、アクセス権を持つリソースのレポートを生成します。これらのユーザーは、ボリューム、パケット、データベーススキーマのスキャンを有効または無効にすることはできません。

このロールを持つメンバーは、他のアクションを使用できません。

関連リンク

- ["BlueXP のアイデンティティ管理とアクセス管理の詳細"](#)
- ["BlueXP IAMの使用を開始する"](#)

- "BlueXP メンバーとその権限を管理します。"
- "BlueXP IAM向けAPIの詳細"

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。